

市制實施を前に控へ 伏見町長抱負を語る

助役席を築立ちする事は 何となく心残りがある

縣から認可の到着しない内は町長席に収まらぬと頑張つて居た伏見町長もいよいよ去二十五日認可が手許に届いた。後任助役の決定せぬ間は、矢張り現場維持で、元通り

助役席

に収まつてゐる事にしよう
すめば都で助役席を築立ちする事は、何となく心残りがある様である。と冒頭し今後の抱負を物語る。市政を前にしての町長としては可成の重荷であるが、自己の力で出来得るだけの仕事は爲し遂げやうと思つてゐる、併し遺憾ながら、中央政府の行政整理が一般地方に波及し

當町に

於ても十四年度の豫算を緊縮した次第であるから、従つて内外に亘る町政の具体的施設方針等にも消極主義を執らねばならぬことは己を得ないことである、差し當つての計劃は、平町外飯野、内郷惡水豫防組合の事業たる南町裡新川及古川の堤防擴張及河川改修工事であるが

豫算の

關係上十六年度から大々的に着手することになるだらうと思はれる、もしこれが實現されれば出水の憂ひを根本から排除されるし又南町裏道路と

にしては大工場の建設などが最善の方法ではあるまいか、而して大瀧發電所問題に解決して是非保健全にも安定した状態に置き度と思ふ、いづれにもせよ協力一致に缺けた平町民はこの際小利小慾を捨て犠牲的態度を以つて平町發展のために努力して貰ひたいものである。云々

炭礦は

有限的のものであるし、殊に最近の如く炭界不況時にあつては平町として蒙る打撃も可成に莫大であるから今後の平町は炭礦に依頼せず飽迄無限の財源を發見することに努力しなければならぬ、それ

上層を廢坑

本日限りに
石城郡赤井村小田炭礦は本日限り上層を廢坑し下層は現狀を維持する

内郷村礦毒問題 解決上に一日の促進

炭礦側と會見

會社に誠意を有すと
濱崎主任語る
右會見嶺末に關して青沼經理課長及び濱崎庶務主任は本日午前十時水野郡長を訪問問題の經過に就き陳情



家中庭開

夜中にセキ

のてるのは
感冒におかされたものが床に入ると、せきのでる方があります、また夜中に甚し

平町地方の 金融界沈靜

草野氏語る

警城銀行支配人草野順平氏は石城經濟界の事情について語る。石城地方の金融界は月半ばまでは緩慢であつたが月末は酒造税の納期で石城地方のみでも三十万圓を収めるために預金の拂戻し並に貸付が行はれて逼迫を告げてゐるが又一方炭礦界の不況によつて景氣引立たず概して沈靜である云々

小川江筋總會

石城郡小川江筋普通水利組合通常總會を本日午前十一時か

町村の 怠納を取締

郡吏員出張

各町村の豫算編成に際する年度内の諸事決済は本月中旬に是非行はねばならぬことになつてゐるが町村のうちには往々決済せず明年度に繰越す向きもあると云ふので郡當局ではこれを嚴重取締るべく過日來吏員出張させて巡視督勵させてゐるが今回督勵調査せる分は四ヶ町村に上り各種税額等の未納には片つばしから怠

井上縣議が 議會に請願

消防局設置を

平消防組頭井上茂作氏外二名は政友會所屬八田代議士の紹介により左の請願を粕谷議長に提出した。
一、全國消防を統一しその機能を發揮せざる爲め内務省に消防局を設置の

する處あつたが濱崎氏の談に依ると「會社側は礦毒問題に對し誠意を以つて解決する爲めに苦心して居るのであるが昨日内郷村民との會見の結果は兩者互に再考の上圓滿裡に事の解決を運ぶべく決し倉田専務は本日被害を受けたと稱する土壌を東京に持参し鑑定を乞ふ事になつた斯くの如き次第で會社側は決して同問題を冷淡に取扱つて居る様な譯ではない」との事である

養子殺るし

執行猶豫に

昨年十一月双葉郡上岡村農遠藤芳太郎(七)が飯びつ中に猫イラズを混入し婿養子清治を毒殺せんとせる事件の第一回公判は昨廿六日午後三時福島地方裁判所平支部に於て日井裁判長より懲役一年二年間の執行猶豫言渡あつた

公人私人

門傳清(七)氏(辯護士)千葉地方裁判所判事を辭して辯護士開業すべく準備中の處昨日登錄された爲め本日から才拙小路(元市原病院跡)に辯護士の看板を掛け

荷馬車轉覆

老人が重傷

石城郡上小川村大字上小川くせきの出る時などあります、なせせきが出るかといひますと、これは主として床の中で、肌が冷るためであります、また夜中に部屋の温度が下がるためであります、これらのせきの出るものに對してはその防ぎをしてやりませんと風をこじらせて悪結果をひきおこ

十錢宛貯金

平窪村にて

石城郡平窪村小學校生徒三百名は勤儉實行の意味にて三月一日から毎月一名十錢宛を平郵便局に貯金する事となつた

小粒で賣

平地方の狀況

目下賣出中の第三回復興債券の平町地方における賣れ行き狀況は發賣前より相當

募集

文藝其他投稿

多數をまとめて買ふ者少く一枚二枚の小つぶ種が多い

演藝だより

有聲座 昨日から寫眞差替へて市川童十郎、市川幡谷主演の「國定忠次」を始め嵐璃徳の「春雨傘」現代哀話「淀の草笛」等何れも傑作揃への處へ更に寫寫や喜劇が加へられてゐる